




簿帳計会

會派名 無所屬

[illegible]

旅費精算兼旅行命令変更書

支出番号	第 8 号	会派代表者	経理責任者
令和 1 年 6 月 1 日 起票			
支出科目	調査旅費		
支 出 額	0		

1 出張者内訳	出張者氏名	旅 費 金 額			精算印
		精算前	精算後	差 額	
	高松大樹	120,550	120,550	0	
	2				
	3				
	4				
	5				
2 用務先	富山市 静岡市				
3 出張期間	令和1年5月15日～令和1年5月17日 2泊3日				
4 旅 費	概算額 120,550 円 精算額 120,550 円 差 額 0 円				
5 用務内容	スポーツ施設条例について 市立学校等夜間照明施設設置・管理事業について				
6 特記事項 (変更理由)	出張命令書兼支出調書 支出番号 3 号のとおり				

平成31年 4月 10日

総務課長 殿

会派名 無所属

氏 名 高松 大樹



旅 費 (変 更) 計 算 依 頼 書

下記のとおり調査研究活動のため出張いたしますので旅費計算をお願いいたします。

記

日 程	平成31年5月15日 ～ 平成31年5月17日
出張者	高松 大樹
用務地	①富山市 (5月15日 15:30～17:00) ②静岡市 (5月16日 14:30～16:30)
用務内容	①スポーツ施設条例について ②市立学校等夜間照明施設設置・管理事業について

旅 費 計 算 書

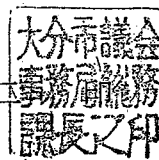
経路	5月15日 大分-小倉-京都-金沢-富山 5月16日 富山-名古屋-静岡 5月17日 静岡-名古屋-小倉-大分		
旅費内訳	交通費	79,330	円
	宿泊料	30,000	円
	日当	11,220	円
	計	120,550	円



上記のとおり通知いたします。

平成31年 4月 15日

総務課長 村 上 雄



		日当	宿泊	乗換案内の 交 通 費
5/15	大分市→富山市	3,300	15,000	37,750
5/16	富山市→静岡市	3,960	15,000	10,530
5/17	静岡市→大分市	3,960	—	31,050
		11,220	30,000	79,330

一人当たり旅費合計

120,550

※大分～静岡間については、通し切符を購入し、富山にて途中下車を利用する。

※静岡市の通常経路は中部国際空港利用であるが、JR利用の方が旅程の都合上、合理的かつ経済的であるため、JR利用の特例経路を利用する。（人事課協議済）

※16日の用務終了後、22時頃までに帰る便に間に合わないため、後泊とする。

大分 ~ 富山 2019年5月15日(水) 15時0分 着 決定(取り込み)

経路	評価	時間	費用	距離
1	早安楽飛	7時間 8分	34,410円	1010.4km
2	早安楽飛	7時間 40分	33,990円	1010.4km
3	早安楽飛	8時間 3分	32,110円	1011.2km
4	早安楽飛	9時間 25分	31,690円	1011.2km
5	早安楽飛	14時間 8分	27,130円	

37,750 円

経路 No.1

	2019/05/15	運賃	料金	距離
大分	発 07:46 駅宿	● 16190円	●	●
特ソニック10号	↓ 発タ着タ	89分 12850円	2800円グリーン席	132.9km
小倉	着 09:15 駅宿 乗換12分		●	●
新のぞみ16号	↓ 発タ着タ	147分	10590円グリーン席	594.1km
京都	着 11:54 駅宿 乗換16分		●	●
特サンダーバード19号	↓ 発タ着タ	133分	5300円グリーン席	224.8km
金沢	着 14:23 駅宿 乗換8分		●	●
新つるぎ714号	↓ 発タ着タ	23分	2870円グリーン席	58.6km
富山	着 14:54 駅宿	●	●	●

大分-小倉-京都-金沢-富山-名古屋-静岡間に

ついては、通1切符を購入し、富山にて途中下車を利用する。

富山 ~ 静岡 2019年5月16日(木) 7時0分 発 決定(取り込み)

経路	評価	時間	費用	距離
1	早安楽飛車	3時間 44分	25,070円	572.1km
2	早安楽飛車	5時間 32分	18,090円	441.9km
3	早安楽飛車	5時間 16分	19,840円	501.7km
4	早安楽飛車	5時間 16分	23,480円	617.6km

10,530円

経路 No.2

	2019/05/16	運賃	料金	距離
富山	特 08:00 駅宿	0円		
特 (ワイドビュー)ひだ6号	↓ 発 夕 着 夕	244分 7560円	5300円グリーン席	256.1km
名古屋	着 12:04 駅宿 乗換33分			
新 ひかり466号	着 12:37 ↓ 発 夕 着 夕	55分	5230円グリーン席	185.8km
静岡	着 13:32 駅宿			

静岡 ~ 大分 2019年5月17日(金) 7時0分 発

決定(取り込み)

経路	評価	時間	費用	距離
1	早安楽飛便	6時間 19分	31,050円	1060.4km
2	早安楽飛便	13時間 58分	44,670円	
3	早安楽飛便	6時間 42分	30,530円	1060.4km
4	早安楽飛便	8時間 35分	28,790円	1060.4km
5	早安楽飛便	25時間 10分	23,840円	
6	早安楽飛便	13時間 58分	53,710円	

経路 No.1

	2019/05/17	運賃	料金	距離
静岡	発 07:17 駅宿			
新 こだま697号	↓ 発夕 着夕	82分 13170円	15080円グリーン席	185.8km
名古屋	着 08:39 駅宿 乗換9分			
新 のぞみ9号	↓ 発夕 着夕	183分		741.7km
小倉	着 11:51 駅宿 乗換18分			
ソニック19号	↓ 発夕 着夕	87分	2800円グリーン席	132.9km
大分	着 13:36 駅宿			

令和1年 5月 27日

会派代表者 殿

出張報告書

31年 5月 15日から 5月 17日まで出張しましたので
下記のとおり報告します。

会派名 無所属

報告者 高松大樹



1 出張先	富山市 静岡市	
2 用務	スポーツ施設条例について 市立学校等夜間照明施設設置・管理事業について	
3 出張者氏名	1 高松大樹	6
	2	7
	3	8
	4	9
	5	10
4 研修調査等の内容	別紙のとおり	

行政視察報告書

視察日 令和元年5月15日
視察先 富山県富山市
出張者 高松大樹
調査事項 スポーツ施設条例について

趣旨・目的として、市民のスポーツ振興を図り、市民の健康増進に寄与するため、スポーツ施設を設置することを規定しています。富山市は、平成31年4月1日現在、スポーツ施設条例には68施設を条例に規定し、スポーツ施設として富山市富山南総合公園文化体育施設条例に2施設を規定している。

課題として、施設の指定管理者制度導入に関し、市の外郭団体に対して非公募により指定管理者委託を行っている。施設、整備の経年による老朽化や老化がみられる中、多大な改修・更新費用が必要となっている。施設使用料の体系が受益者負担を考慮したものになっていない。スポーツ施設の適正な再配置を検討すべき時期を迎えているとのことでした。

今後の展望として、現在指定管理者制度を採用しているスポーツ施設の指定管理者期間が次年度末までとなっており、民間ノウハウによる施設利用の活性化と維持管理費抑制等の効率的な運営体制の導入の観点から、指定管理者の公募化に向け検討が必要、施設の維持管理費や市の歳出抑制を図るため、コンセッションなどPPT/PFIによる施設の民間事業化について検討する、ファシリティマネジメントの観点から、施設ごとのライフサイクルコストを算出し、市域全体の施設バランスや改修等に要する費用の平準化を図るための長寿寿命計画を策定する、施設整備や人件費を含めた維持管理費を使用料にて賄うことを基本とした総括原価による使用料算出について検討が必要、また、施設を使用する者との公平性の観点から適正な受益者負担を求めていく、市町村合併により大小、様々なスポーツ施設が存在しており、施設の老朽化、利用者数、施設の稼働率を考慮し、地域のスポーツ振興拠点となる施設の配置について検討していくとのことでした。

所感

大分市も、今年4月から健康推進条例を施行しており、スポーツを「する」だけではなく、「みる」「支える」といった多様なニーズに応えるとともに、年齢や性別、障がい等を問わず、市民のだれもが生涯にわたってスポーツに参画することができるようにスポーツの振興を図り、健康で文化的な生活の向上に努めていきたい。

行政視察報告書

視察日 令和元年5月16日

視察先 静岡県静岡市

出張者 高松大樹

調査事項 私立学校等夜間照明施設設置・管理事業について

事業の目的として、静岡市立学校等の体育施設を、教育活動に支障のない範囲で、定期的なスポーツ利用のために地域に開放し、地域スポーツの振興を図る。



学校開放の方法で、各私立小、中学校に「学校施設利用運営協議会」を設置し、利用団体の登録や毎月の利用調整をおこなっており、学校等体育施設の利用にあたっては、協議会への団体登録が必要で、個人利用は許可していないとのことでした。利用団体となるための条件として、成人の指導者を有すること、定期的にスポーツ活動を行う団体であること、原則、市内に移住または通勤するもので構成され、概ね10人以上の団体であること、営利目的の利用でないこと、協議会委員会は、学校職員、地域の代表、利用団体責任者、市スポーツ推進委員を含めた構成としているそうです。グラウンド夜間照明設置の経緯については、学校等体育施設利用事業のグラウンド利用時間の拡大のため、昭和50年頃から地域の要望に基づいて設置している。現在の清水区には、地域住民が設置した夜間照明もあるとのことでした。グラウンド夜間照明設置数は市立小、中学校131校中115校が設置



課題として、随時、球切れ等の修繕には対応しているが、改修年度に偏りがあるため、一斉に大規模改修が必要となる可能性があり、老朽化は進んでいるが一度に多くの改修に着手するのが困難であるため、アセットマネジメントや学校統配合の問題と合わせて、改修計画を検討していく必要があるとのことでした。

所感

大分市では、小中学校に夜間照明を設置している学校が、大在中学校、戸次中学校、植田西中学校、田尻小学校と4校しか夜間照明がなく13地域にバランス的についてないのを知りました。発生が危惧される南海トラフ巨大地震をはじめとした大規模な自然災害を考えると、避難場所になる高台の小中学校に夜間照明があると目印にもなるし、夜は精神的にも安心すると思います。地域のスポーツの活動にも使えますし、地域住民の交流の場にもなると思います。課題として、夜間照明を夜つけるとまぶしい、うるさいなどと課題はあると思いますが近所住民の方としっかりコミュニケーション、議論しながら災害に備えて出来ることを調査、研究を進めていきたいと思っています。

旅費精算兼旅行命令変更書

支出番号	第 9 号	会派代表者	経理責任者
令和 平成 1 年 6 月 22 日 起票			
支出科目	調査旅費		
支出額	0		

1 出張者内訳	出張者氏名	旅 費 金 額			精算印									
		精算前	精算後	差 額										
	高松大樹	17,700	17,700	0										
	2													
	3													
	4													
	5													
2 用務先	長崎市													
3 出張期間	令和元年5月22日～令和元年5月23日													
4 旅 費	<table><tr><td>概算額</td><td>17,700</td><td>円</td></tr><tr><td>精算額</td><td>17,700</td><td>円</td></tr><tr><td>差 額</td><td>0</td><td>円</td></tr></table>					概算額	17,700	円	精算額	17,700	円	差 額	0	円
概算額	17,700	円												
精算額	17,700	円												
差 額	0	円												
5 用務内容	環長崎港夜間景観向上基本計画について													
6 特記事項 (変更理由)	<div>出張命令書兼支出調書 支出番号  6号のとおり</div>													

令和元年 5月9日

総務課長 殿

会派名

無所属

氏 名

高松 大樹



旅 費 (変 更) 計 算 依 頼 書

下記のとおり調査研究活動のため出張いたしますので旅費計算をお願いいたします。

記

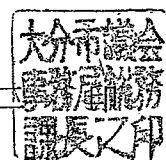
日 程	令和元年5月22日 ～ 令和元年5月23日
出張者	高松 大樹
用務地	長崎市 (5月22日 14:30～16:30)
用務内容	環長崎港夜間景観向上基本計画について

旅 費 計 算 書

経路	5月22日 大分-鳥栖-長崎 5月23日 長崎-鳥栖-大分												
旅費内訳	<table><tr><td>交通費</td><td>14,400</td><td>円</td></tr><tr><td>宿泊料</td><td>0</td><td>円</td></tr><tr><td>日 当</td><td>3,300</td><td>円</td></tr><tr><td>計</td><td>17,700</td><td>円</td></tr></table>	交通費	14,400	円	宿泊料	0	円	日 当	3,300	円	計	17,700	円
交通費	14,400	円											
宿泊料	0	円											
日 当	3,300	円											
計	17,700	円											

上記のとおり通知いたします。

令和元年 5月14日
総務課長 村 上 雄



		日当	宿泊	乗換案内の 交 通 費
5/22	大分市→長崎市	3,300	—	7,200
5/23	長崎市→大分市	—	—	7,200
		3,300	0	14,400

一人当たり旅費合計

17,700

※22日の用務終了後、私事にて長崎に留まる必要があるため、23日の便にて
帰分するが、22日の宿泊費並びに23日の日当については支給しない

大分 ~ 長崎(長崎) 2019年5月22日(水) 8時0分 発

決定(取り込み)

経路	評価	時間	費用	距離
1	早安楽飛渡	4時間 28分	10,060円	273.9km
2	早安楽飛渡	5時間 51分	8,140円	

7,200円

経路 No.1

	2019/05/22	運賃	料金	距離
大分	発 08:21 駅宿			
特 ゆふ2号	↓ 発 夕 着 夕	153分 5510円	1750円 指定席	148.6km
鳥栖	着 10:54 駅宿 乗換22分			
特 かもめ17号	↓ 発 夕 着 夕	93分	2800円 グリーン席	125.3km
長崎	着 12:49 駅宿			

別府・大分 <=> 長崎 (指定席 2枚切符) 5,140円

グリーン席加算分

2,060円

7,200円

長崎(長崎) ~ 大分 2019年5月23日(木) 9時30分 発

決定(取り込み)

経路	評価	時間	費用	距離
1	早安楽飛便	5時間 44分	10,060円	273.9km
2	早安楽飛便	5時間 56分	8,140円	

7,200円

経路 No.1

	2019/05/23	運賃	料金	距離
長崎	発 09:47 駅宿			
特 かもめ14号	↓ 発 夕 着 夕	103分 5510円	2800円グリーン席	125.3km
鳥栖	着 11:30 駅宿 乗換77分			
特 ゆふ3号	↓ 発 夕 着 夕	164分	1750円指定席	148.6km
大分	着 15:31 駅宿			

別府・大分 <=> 長崎 (指定席 2枚切符) 5,140円

グリーン席加算分

2,060円

7,200円

令和1年 6月 2日

会派代表者 殿

出張報告書

年 5月 22日 から 5月 23日 まで出張しましたので
下記のとおり報告します。

会派名 無所属

報告者 高松大樹



1 出張先	長崎市	
2 用務	環長崎港夜間景観向上基本計画について	
3 出張者氏名	1 高松大樹	6
	2	7
	3	8
	4	9
	5	10
4 研修調査等の内容	別紙のとおり	

行政視察報告書

視察日 令和元年5月22日
視察先 長崎県長崎市
出張者 高松大樹
調査事項 環長崎港夜間景観向上基本計画

概要




長崎市は、ライトアップが都市景観の演出として定着する以前より、港を中心としたすり鉢状の地形の高密度化によって、「100万ドルの夜景」とも評される立体的で美しい夜景が形成されてきました。こうした夜景の魅力をさらに高めるため、平成5年度、照明デザイナー・石井幹子氏の監修により「ライトスケープ基本計画」を策定し、主要な観光施設のライトアップに着手し、現在までに大浦天主堂や眼鏡橋等の約30施設で実施しているそうです。平成15年度から17年度にかけては、「ナトリウム灯活用夜景魅力アップ整備事業」により、都心地区、西坂～平和公園地区、稲佐山周辺地区において、重要な道路として選定された路線の街路灯やく350箇所を水銀灯等からナトリウム灯へ改修しました。平成21年度からは視点場の再整備に着手し、稲佐山においては展望台駐車場整備、世界的工業デザイナー・奥山清行氏のデザイナーによるロープウェイゴンドラのリニューアル、光のトンネル整備、展望台の改修、鍋冠山においては平成27年度から、展望台の改修に着手するなどの取り組みを進めているそうです。ソフト施策としては、平成6年から、それまで中華街で行われていた旧正月を祝う行事「長崎ランタンフェスティバル」の規模を拡大し、中心市街地に中国ランタン約1万5000個を設置し、15日間に渡り各種イベントを行っています。また、平成21年度には、夜景評論家・丸々もとお氏の監修による「長崎ノ夜景」ホームページを開設し、情報発信の強化を図るとともに、民間と連携し夜景ナビゲーターの育成や夜間鑑賞バスの運行などに取り組んできたとのことでした。こうした取り組みが評価され、平成24年10月、モナコ、香港と共に「世界三大夜景」に、平成27年10月、札幌市、神戸市と共に「日本新三大夜景」に認定されました。平成27年の観光客数は669万人、観光消費額1、368億円でいずれも過去最高を記録し、ロープウェイの乗客数は平成17年の約6,7万人から、平成26年度には約19万人の大幅に増加するなど、目に見える形で効果がでているそうです。近年の取り組みとしては、平成29年3月に国土交通省から景観まちづくり刷新モデル地区に指定され、夜間景観の刷新、祈りの景観の刷新、まちなかの刷新という3つのテーマを掲げて、更なる景観の向上に挑戦する中で、今回視察した環長崎港夜間景観向上基本計画を策定したとのことでした。環長崎港夜間景観向上基本計画の策定にあたっては、株式会社ライティング・プランナーズ・アソシエーツの設立者である面出薫氏を策定支援者として招し、最先端の理論を取り入れたそうです。また、面出氏を中心に、市民や長崎市職員などとワークショップを開催し、市民協働で夜間景観向上のための地区ごとの課題を洗い出したとのことでした。そういった過程を経て、環長崎港の夜間景観



を形成する重要地区を10のエリアに分けて、それぞれの特性を考慮した戦略を立てているそうです。それらの戦略は、快適な陰影、適正な色温度対比、まぶしさを適正にコントロールするグレアフリー、鉛直面の明るさ、演色性への配慮、高効率照明器具、オペレーションから成る7つの視点を用いて、港へ流れ込む輝き、おおらかに彩られたまち、祈りを誘う灯りという3つのコンセプトをそれぞれのエリアで具現化することによって世界一の夜景都市を目指すという設計になっているということでした。こうした夜景観光の取り組みを進めてきたことで、環長崎港夜間景観は向上を遂げており、観光客数及び観光消費額は毎年増加しているそうです。今後については、モデル地区に指定されている国土交通省の景観まちづくり刷新支援事業を活用し、計画を着実に実行していきたいとのことでした。合わせて、現在長崎市では、景観専門監として九州大学持続可能な社会のための決断化学センター准教授の高尾忠志氏を招しており、高尾氏の持つノウハウを活かして、景観に関する専門性の高い職員の育成、公共事業のデザインの指導と管理にも努めていかれるそうです。

所感

大分市は観光資源に乏しく、観光客数の増加は重要である。長崎市では、照明夜景の技術がすすんでおり、計算によって夜景が形成されていたと感じた。また民間の協力も積極的で市民と一緒に取り組みがすすんでいるとも感じた。大分市もクルーズなどで工業地域などを夜景スポットとして売り出していける可能性があると思うので今後も調査・研究していきたい。

旅費精算兼旅行命令変更書

支出番号	第 10 号	会派代表者	経理責任者
 年 6 月 27 日 起票			
支出科目	調査旅費		
支出額	0		

1 出張者内訳	出張者氏名	旅 費 金 額			精算印
		精算前	精算後	差 額	
	高松大樹	123,460	123,460	0	
	2				
	3				
	4				
	5				
2 用務先	渋谷区 帯広市				
3 出張期間	令和 1 年 5 月 27 日 ~ 令和 1 年 5 月 28 日				
4 旅 費	概算額 123,460 円 精算額 123,460 円 差 額 0 円				
5 用務内容	民間資金利用での庁舎建設について 協働のまちづくりに関する包括連携協定について				
6 特記事項 (変更理由)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 出張命令書兼支出調書 支出番号  号のとおり </div>				

平成31年 4月26日

総務課長 殿

会派名

無所属

氏 名

高松 大樹



旅 費 (変 更) 計 算 依 頼 書

下記のとおり調査研究活動のため出張いたしますので旅費計算をお願いいたします。

記

日 程	平成31年5月27日 ～ 平成31年5月28日
出張者	高松 大樹
用務地	①渋谷区 (5月27日 13:30～15:30) ②帯広市 (5月28日 15:00～17:00)
用務内容	①民間資金利用での庁舎建設について ②協働のまちづくりに関する包括連携協定について

旅 費 計 算 書

経 路	5月27日 大分-大分空港-羽田空港-京急蒲田-品川-渋谷 5月28日 渋谷-品川-京急蒲田-羽田空港-とちり帯広空港-帯広		
旅費内訳	交通費	87,040	円
	宿泊料	28,500	円
	日 当	7,920	円
	計	123,460	円

（ 航空運賃として
83,580円 ）



上記のとおり通知いたします。

平成31年 4月26日

総務課長 村上 雄二



		日当	宿泊	乗換案内の 交 通 費
5/27	大分市→渋谷区	3,960	15,000	42,070
5/28	渋谷区→帯広市	3,960	13,500	44,970
		7,920	28,500	87,040

一人当たり旅費合計

123,460

※大分～大分空港間のエアライナーについては、議員からの申し出により2枚券を利用する。

※往路について、渋谷区から帯広市への通常経路は、新千歳空港利用であるが、
とかち帯広空港を利用した方が、経済的かつ合理的なため、特例経路を
利用する。(人事課協議済)

※復路について、5月29日より千歳市にて総務常任委員会の視察があるため、
帯広市から総務常任委員会視察地及び帰分するまでの旅費については、
委員会旅費にて支出する。

大分 ~ 渋谷 2019年5月27日(月) 8時25分 発 決定(取り込み)

経路	評価	時間	費用	距離
1	早安楽飛	4時間 20分	42,320円	---
2	早安楽飛	5時間 23分	53,260円	---
3	早安楽飛	7時間 26分	26,130円	1257.0km
4	早安楽飛	15時間 44分	23,970円	---
5	早安楽飛	5時間 30分	42,390円	---
6	早安楽飛	6時間 19分	53,330円	---

42,070円

経路 No.1

大分／大分駅前

大分 大分空港線[別府・大分](エアライナー)(大分空港行)

大分空港

飛 JAL664便

羽田空港／羽田空港国内線ターミナル

私 京急空港線快特(印旛日本医大行)

京急蒲田

私 京急本線快特(印旛日本医大行)

品川

JR 山手線渋谷方面行

渋谷

2019/05/27

発 08:25 駅宿

着 09:25 駅宿

着 10:20 駅宿

着 11:50 駅宿

着 12:11 駅宿

着 12:19 駅宿

着 12:19 駅宿

着 12:26 駅宿

着 12:33 駅宿

着 12:45 駅宿

着 12:45 駅宿

着 12:45 駅宿

着 12:45 駅宿

着 12:45 駅宿

着 12:45 駅宿

運賃 料金 距離

1300円

+550円

40190円

410円

410円

410円

410円

410円

410円

410円

410円

410円

410円

410円

410円

410円

410円

410円

410円

410円

410円

410円

410円

410円

410円

410円

410円

410円

410円

410円

410円

410円

410円

410円

410円

410円

410円

410円

410円

410円

410円

410円

410円

410円

距離

803.0km

6.5km

8.0km

7.2km

7.2km

7.2km

7.2km

7.2km

7.2km

7.2km

7.2km

7.2km

7.2km

7.2km

7.2km

7.2km

7.2km

7.2km

7.2km

7.2km

7.2km

7.2km

7.2km

7.2km

7.2km

7.2km

7.2km

7.2km

7.2km

7.2km

7.2km

7.2km

7.2km

7.2km

7.2km

7.2km

7.2km

7.2km

7.2km

7.2km

7.2km

7.2km

7.2km

7.2km

渋谷 ~ 帯広 2019年5月28日(火) 8時0分 発

決定(取り込み)

経路	評価	時間	費用	距離
1	早安楽飛	6時間 3分	44,970円	---
2	早安楽飛	6時間 21分	44,700円	1021.5km
3	早安楽飛	12時間 16分	30,380円	1309.5km
4	早安楽飛	12時間 14分	29,650円	1286.8km
5	早安楽飛	5時間 50分	45,420円	---
6	早安楽飛	5時間 47分	42,490円	---
7	早安楽飛	13時間 21分	29,870円	1309.5km
8	早安楽飛	14時間 16分	29,140円	1286.8km

経路 No.1

渋谷	2019/05/28	運賃	料金	距離
JR 山手線品川方面行	08:00 駅宿			
	↓ 発 着 14分	170円		7.2km
品川	08:14 駅宿			
京急本線エアポート急行(羽田空港国内線ターミナル行)	08:22 駅宿 乗換8分			
	↓ 発 着 11分	410円		8.0km
京急蒲田	08:33 駅宿			
京急空港線エアポート急行(羽田空港国内線ターミナル行)	08:34 駅宿 直通運転			
	↓ 発 着 11分			6.5km
羽田空港国内線ターミナル / 羽田空港	08:45 駅宿			
飛 JAL575便	11:35 駅宿 乗換170分			
	↓ 発 着 照 95分	43390円	片道	846.0km
とち帯広空港	13:10 駅宿			
とち帯広空港線[帯広](十勝バス本社行)	13:25 駅宿 乗換15分			
	↓ 発 着 38分	1000円		
帯広駅BT / 帯広	14:03 駅宿			

WEB 7ca4e2db6caefb1774ddfc6e8a30ead6
2019年05月15日 23:07領収書
RECEIPT

下記の金額正に領収いたしました。

RECEIVED FROM: 大分市議会 高松大樹 様

金額

THE SUM OF: ￥ 83,580 円 (税込み)

但し	IN PAYMENT OF	運賃として AIR FARE-FREIGHT
航空券番号	TICKET NUMBER	1311455919052
航空券発行日	DATE OF ISSUE	2019年04月27日
発行所	PLACE OF ISSUE	日本航空
備考	REMARKS	現金・クレジットカード・その他のお支払い分を含みます

日本航空株式会社
Japan Airlines Co., Ltd.

ご利用区間・運賃明細

お客様	搭乗日	出発地	到着地	便名	利用運賃	金額
TAKAMATSU DAIKI 様	5月27日(月)	大分	東京(羽田)	JAL664	大人普通運賃	¥40,190
	5月28日(火)	東京(羽田)	帯広	JAL575	大人普通運賃	¥43,390

合計金額

¥83,580

領収書
RECEIPT

1001992665

下記の金額正に領収致しました。

RECEIVED FROM: 様

THE SUM OF: ￥ 83,580 (税込) (TAX INCLD.)

但し運賃・料金として
IN PAYMENT OF AIR FARE-FREIGHT航空券番号
TICKET NUMBER 1311455919052関連航空券番号
OTHERS *****発券日
DATE OF ISSUE 2019年04月27日備考
REMARKS クレジット(JL) ￥83,580印紙税申告納
付につき品川
税務署承認済

発行: 日本航空株式会社 OITKD

2019年05月27日

令和元年 6月 10日

会派代表者 殿

出張報告書

令和元年 5月 27日から 5月 28日まで出張しましたので
下記のとおり報告します。

会派名 無所属

報告者 高松大樹



1 出張先	渋谷区 帯広市	
2 用務	民間資金利用での片倉建設について 協働のまちづくりに関する包括連携協定について	
3 出張者氏名	1 高松大樹	6
	2	7
	3	8
	4	9
	5	10
4 研修調査等の内容	別紙のとおり	

行政視察報告書

視察日 令和元年5月27日
視察先 東京都渋谷区
出張者 高松大樹
調査事項 民間資金利用での庁舎建設について

渋谷区では、公共施設の耐震化について、学校施設の建替えや耐震化はもちろん、保育園や区民施設の建て替え等に全力で取り組んできたが、庁舎については震災後にも業務継続機能を確保するために十分な耐震性能を確保できていなかったとのことでした。そのため、来るべき大震災に備え、庁舎の倒壊を防ぎ震災後にも行政機能を確保し、区政の中核機能を麻痺させないことを目的とし、まずは長寿命化を図るため平成7年に耐震診断を行い必要な耐震強化を行ったそうです。しかし、東日本大震災に遭遇し、再度耐震診断を実施したところ、建物の老化はさらに進んでおり、震災時の活動拠点としての耐震基準値よりはるかに低いIs値0.23であったため、庁舎BCPの確保を区の最優先課題と位置づけ、老朽化した庁舎の耐震化の検討を行いました。耐震補強では耐震ブレースによる事務スペースの狭隘化や業務を実施しながら工事を行うための工期の長期化によるサービス低下が避けられず、老朽化した整備機器の更新と併せて巨額の財政支出も見込まれた。一方、建替えにも多額の費用が見込まれますが、区有地に定期借地権を設定し建替え費用を賄う手法について検討を行い、庁舎、公会堂の敷地の一部を民間企業に貸し付けることで財政負担を軽減できるとの見込みから、平成24年12月に工期が短く、区の財政負担が最小限であることを柱とした公民連携による建替えの事業手法について提案の公募を行ったそうです。建替え事業手法として、工期が短く、区の財政負担が最小限であること、新庁舎の施設機能・構造の整備条件では、1、免震構造等を採用すること2、省エネルギーの徹底を図ること3、環境負荷の低減を図ること4、維持管理費の縮減と長寿命化を図ること5、非常時の事業継続性機能を確保すること6、規模は旧施設と同等程度とすること

公募の結果5者より応募があり、区の財政負担なしで建替えを実現する提案が複数なされ、区議会とも協議のうえ区が定期借地権を設定する対価として、民間事業者が区の庁舎等建築費の負担をゼロとする庁舎等建設を行うこととし、検討の結果、区にとって最も有利と考えられる提案を選定し、建替えを行ったそうです。公募の評価としても、民間事業者のノウハウの活用では、自治体が事業手法の検討に要する経費、時間を最小限に抑え、民間のノウハウで手続きに時間を要しない事業を選択することで、迅速な事業着手が実現した。民間事業者による資金調達では、資金調達を自治体の予算の枠組と切り離すことで、建設費高騰で多くの公共事業が延期や凍結せざるを得ない状況下であっても、事業の延期・中止リスクを回避することができる。

所感

荷揚町小学校の跡地、22街区、54街区と公有地があり、昨年度末に、中心市街地公有地利活用基本構想を策定し、今後は、民間アイデアの募集を実施することなので、民間活力導入も視野に中心市街地の魅力向上に努めていかないといけない。官民連携により、民間事業者の資金、ノウハウの有効活用を目指し、調査、研究に努めていきたい。

行政視察報告書

視察日  平成31年5月28日

視察先 北海道帯広市

用無内容 協働のまちづくりに関する包括連携協定について

【概要】

包括連携協定の目的として、地域課題に対して、自治体と民間企業等が双方の強みを生かして協力しながら、課題解決に対応するための大枠を定める枠組みとなっています。協定締結に向けた視点として、複数分野の施策や事業において連携することで、地域の活性化や公共サービスの充実など、行政課題につながる事
こと。締結を機に、企業等の既存の取り組みにはない新たな事業での連携ができること。連携の柱として位置づけられる連携事業があること。これまで以上に社会貢献活動や連携事業を進めていく体制があること。締結後も定期的に協議の場を設け、複数年度のわたり連携事業を実施できることとのことです。

北海道コカ・コーラボトリング、サッポロホールディングス、セブン&アイグループHLDGS、イオン、帯広市郵便局など多くの企業と連携協定をしておられ、その中で、セブン&アイグループHLDGSでは、地産地消と市製品の販路拡大に関すること、市政情報及び観光情報の発信の関すること、地域や暮らしの安全、

安心に関すること、高齢者・障害者の支援に関すること、子ども・青少年の育成に関すること、食育、健康増進に関すること、などいろんな取り組みを連携しながら努めているとのことでした。課題として、連携イメージ共有が重要など、はじめは個別の取り組みからでも活用次第で無限の可能性があるとおっしゃっていました。

【所感】

企業と包括連携協定をすることで、市との連携・協力を深め、一層地域への貢献もできると思います。この視察で学んだことを、大分市政にいかせるように調査・研究していきたい。